



酷暑と豪雨に渇水・・・両極端な天候が日本列島だけでなく世界中で現れた夏ですが、少しずつ秋の大気に換わりつつあるようです。古民家の姿を観ていると、以前の四季の特徴をよく踏まえた造りをしていることが分かります。そんな旧東方村中村家住宅では、先月22日に今年度新採用の先生方の研修会が行われました。

新任の先生、大いに学ぶ

今年度新採用で越谷市立小中学校に着任した先生方は100人余り。そのうち26人の方々が旧東方村中村家住宅での研修会に参加されました。全員、初めての来館でした。その概要は次の通りです。

- ◆「昔の明かり」体験：①点灯した^{とうみょう}灯明、ロウソク(和と洋)、^{あんどん}行灯、石油ランプ、白熱電球を見学。
②小グループで疑問や感想をまとめる。
③シェアリング(各グループの発表と質疑のコメント)。
- ◆当住宅の見学・観察：①まず説明なしで現代住宅との違いに注目して各自で自由に観察する。
②③(同上)

シェアリングで出されたことや感想文の一部をご紹介します。

明かりが何でできているかなんて...

- ★ロウはどうやって作る? 和ロウソクの作り方がすごい。
- ★和ロウソクの材料のを見つけ方、調達の方法は?
- ★明かり(照明具)の種類によって明るさが全然違う。
- ★灯明と和ロウソクを初めて見ました。便利になる中で失われていったものや、電気の普及の地域差など、普段考えない視点で学べたので良かった。

灯明



★明かりが何でできているのかを気にしたことがなく、ほとんどが植物由来と聞いた時は驚きました。

★便利になっていく上で失われるもののお話が印象的でした。

★昔の人はこんなにも暗い所で生活していたのかと実感しました。明かりがあることで生活の幅が広がったことを考えると、私たちにとって明かりは、今の生活での第一歩であると思いました。



行灯

かつて火は家の内外の色々な場所にありました。屋内の照明具以外にも^{かまど}竈、^{いろり}囲炉裏、^{あんか}こたつ、^{あんか}行火、神棚、仏壇、風呂場などです。現代では“生の”火を見ることかとても少なくなりました。^{とうみょう}灯明や^{あんどん}行灯、石油ランプのように火事の心配が少なくなり明るくなった反面、火や炎から受ける様々な感情を実感することが稀有になりました。

また、電気の普及の地域差があったこと(市域のかつての町村で、最大の差が10年以上ありました。)が、今では考えられないことなので、若い先生方には想像もしなかったことのように思いました。

古民家は、こんなに違う

- ★なぜお風呂がないのか。
- ★生活の場とおもてなしの場で分かれていますことを初めて知りました。
- ★普段触れることのない古民家を実際に見学することで、生活していたとしたらこんな時どうする?どうなる?という疑問を持ちやすかったです。
- ★現代の家の造りと、なぜこんなにも違うんだというくらい、違いを見つけることができました。それは時間をかけて人々が暮らしやすい家造りを考えてきたからだと思いました。
- ★屋根が2つある。
- ★大きな骨組みと細かい骨組みを組み合わせている。
- ★木材の使い分けはどうしたのか?
- ★土間や敷居など、言葉としては知っていたものも、どう使われていたかを学ぶことができて良かったです。

かつては奥の間の裏側に来客用風呂場がありました。住人用は土間の隣にありました。厠(かわや=トイレ)も同様です。当住宅が生活空間と接待空間に分かれているのは、近世に中村家は名主を務めていたからです。古民家は生活空間と生産空間(作業場)がありますが、当家には行政の場もあったのです。



当館の大きな棟(屋根)は確かに2つあります。他に小さな棟が3つ、合わせて5つの棟で構成されています。木組みと木材の使い分け(種類)についての文はいい着眼ですね。現代住宅では見られなくなった土間には、出入口、台所、作業場などの役割がありました。敷居は引き戸には必ずあるのですが、この名称は次第に使われなくなりつつあり、若い方の中にはご存じない方も少なくありません。そのため、「レール」や「段差」などの表現になってきました。「実家の敷居が高い(里帰りにくい)」という言葉も使われなくなりました。

「私たちが学び、伝えたい」



- ★グループで意見を出し合うことで、自分が気づけなかったところを知れたので良かったです。
- ★シェアリングすることで新しい発見があったり学びがありました。
- ★小学校から中学校まで、ずっと越谷で育っていたのですが、中村家住宅を初めて聞きました。実際に見てみると、越谷にこういうものがあつたんだと嬉しかったです。
- ★我々が先に学ばなければならないことが実感できた研修でした。

昔の明かりや古民家の材料の多くは植物です。それは最後の氷河期が終わって日本列島が形成されてから豊かな四季に恵まれたからです。以来、列島に住んだ先人たちは、時にそうせざるを得ない状況もあったにせよ、自然を観察し、その特徴を生かして生活を営んできました。先生方は改めてそのことを思ったのでした。

ご来館ありがとうございました

市立図書館で開催された「市内小学校開校 150 周年記念展示 『第二部 終戦前後の学校』」を終了しました。期間中ご覧頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。展示の様子は次号の「古民家だより」でご報告します。

エコウィーク 2023 展示
場所: 旧東方村中村家住宅(レイクタウン)

わたわた 綿・綿

かつて市域でも生産されていた綿についての展示です。10 月末までご覧いただけます。